

取組事例

(朝型の働き方・**所定外労働削減**・**年休取得促進**・多様な正社員・テレワーク)

企業名：b社（2017年度）	所在地：神奈川県
社員数：1,000名以上	業種：建設業

取組の目的：

社員のWLBの充実を通して、皆が健康で豊かに働ける職場づくり

取組の概要：

○トップメッセージの発信

全社員に対し、働き方改革の推進に関してメッセージを発信。

○働き方改革委員会の設置

平成29年1月、社長を委員長とし、全常勤役員と支社長及び組合代表・事務局長により構成され、月1回委員会を開催。その下に3つの部会を設置し、各部会において働き方改革につながる取組を実施。

- ・業務改善のため、工法の見直し、iPad活用による業務効率化、図面修正や各種書類作成の本社社員による応援など、サポート体制の整備。
- ・意識改革のため、ポスターの掲示、幹部社員向けセミナーの開催、階層別教育などを実施。

○残業時間の削減、休日の確保

- ・月の残業時間が一定時間を超えると上長にアラームが行き、上長が社員と面談を行い、業務調整や人員補充等の対応を行っている。
- ・1現場が終わるとリフレッシュ休暇の取得を制度化。
- ・工期中であっても土日出勤した場合には、翌週に代休取得を原則としている。

○女性の活躍推進

- ・技術系女性社員の増加及び女性管理職の増加について数値目標を設定。
- ・幹部には意識啓発セミナーを受講の上、部門ごとに女性社員の育成計画を作成。上長と女性社員の二人三脚で育成を進めている。

現状とこれまでの取組の効果：

- 代休取得が増えたことにより、総実労働時間は減少。
- 月80時間超の残業を行う社員は約5割減少。